

学校等再編だより

第1号 平成31年4月1日
西伊豆町教育委員会



子どもたちの よい良い教育環境を目指して

西伊豆町では賀茂幼稚園と伊豆海認定こども園を統合して、園舎を伊豆海認定こども園に置きました。今後は5年後の小中一貫校の開校を視野に入れて、まずは2年後の賀茂中学校と西伊豆中学校の統合に向けて準備を進めます。

園児・児童生徒数の減少と自然災害に対応

未来を担う子どもたちの教育環境の整備は西伊豆町の最優先課題です。

西伊豆町教育委員会では園児・児童生徒数の減少と自然災害に対応し、教育環境の向上を図るため、文教施設等整備委員会において検討を重ね、学校等再編計画を策定しました。

西伊豆町ではこの計画に基づき、2019年4月に賀茂幼稚園と伊豆海認定こども園を統合しました。今後は2021年4月に賀茂中学校と西伊豆中学校を統合して現在の賀茂中学校に置き、中学校統合後は西伊豆中学校跡地を整地して、大きな津波や浸水にも耐えうる校舎と園舎を建設する予定です。2024年4月には町内3小学校を統合し、統合後の中学校と併せて施設一体の小中一貫校を開校し、その隣には町内2園を統合して新しい認定こども園を開園する予定です。

統合後の2024年4月からは仁科小学校跡地を整地し、グラウンドと駐車場を整備する予定です。

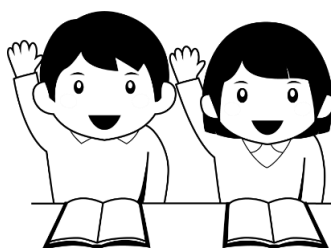
現状と将来を見据えて

西伊豆町の人口は終戦後の 18,000 人台をピークに減少を続け、現在は 8,000 人を割って、2045 年には 3,000 人を割り込むと見込まれています。児童数や生徒数の減少はさらに著しく、賀茂中学校と西伊豆中学校を合わせて現在約 150 人の生徒数は 10 年後に半数以下の 70 人前後にまで減ると見込まれ、その後も緩やかに減少を続けます。児童・生徒数が減ることにより、児童・生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通して、一人一人の素質や能力を伸ばしていくという学校の特質は次第に薄れます。



また、現在の園施設の 2 / 2 と学校施設の 3 / 5 が津波浸水域にあることも、西伊豆町において学校等再編を急ぐ主な理由です。

これまでの経緯について



各地区、保護者、学校などの代表者で構成する文教施設等整備委員会では当初、小学校と園の施設を堂ヶ島洋らんセンター跡地に建設して、中学校を西伊豆中学校か賀茂中学校のいずれかへ統合する方向で話し合いを行いました。ところが地盤調査の最終結果を待たずともなく、堂ヶ島洋らんセンター跡地が学校や園を建設するのに不向きであると判明しました。そこで、教育委員会では早急に新たな 2 つの案を文教施設等整備委員会へ提示し、町内 3 会場で保護者説明会を開きました。そこでいくつか別の案が提示されたため、教育委員会ではこれらの案を引き取って町長と協議し、そうして作られたのが現在の学校等再編計画です。この計画は町文教施設等整備委員会において全会一致で可決し、その後の町内 3 会場での保護者説明会においても概ねご理解をいただきました。

計画の推進について

西伊豆町は平成 17 年 4 月 1 日に(旧)西伊豆町と賀茂村が合併して生まれました。賀茂中学校は昭和 52 年 4 月 1 日に宇久須中学校と安良里中学校が統合して生まれ、西伊豆中学校は平成 15 年 4 月 1 日に仁科中学校と田子中学校が統合して生まれました。町内の園や小学校も同様に、それぞれ統合しています。町村合併も園や学校の統合も様々な要素が複雑に絡む困難な課題ですが、私たちの先人は諸条件の改善を観点に据えて解決に当たり、それぞれの立場で知恵を出し合って、困難な状況を乗り越えて来ました。

今回の学校等再編は西伊豆町の現状と将来を見据えて、これまでにない規模の再編(統合)になります。西伊豆町の子どもたちが夢や希望をもって意欲的に学ぶことができる環境づくりを、今まで以上に地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、進めていきたいと思っております。

☆このおたよりは 2024 年まで適宜発行する予定です。